

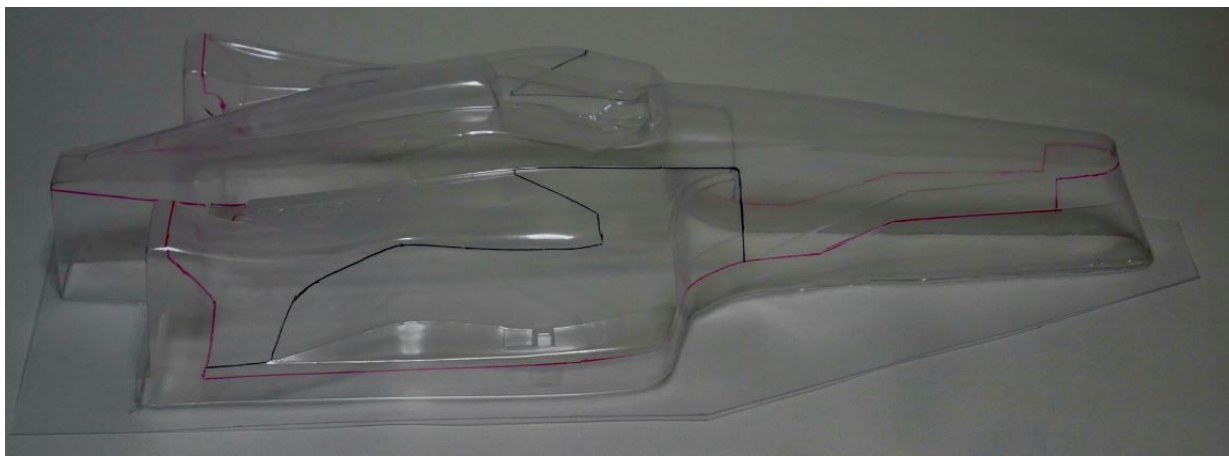
■カットライン

写真を参考にボディ、パーツをカットして下さい(赤線:標準カットライン)

1. ボディ本体

黒線: 絞り込み形状のサイドパーツを使う時の追加のカットラインです。

ロングサイズのバッテリーを横向きで搭載するシャシーの場合、絞り込み形状のサイドパーツを使用するとボディに干渉することがあります。その場合は標準カットラインを採用して下さい。本文書ではワイドボディと称します。

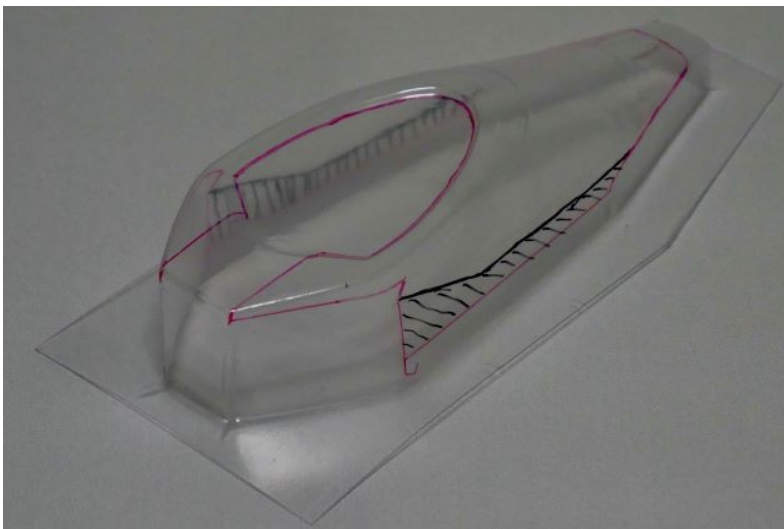
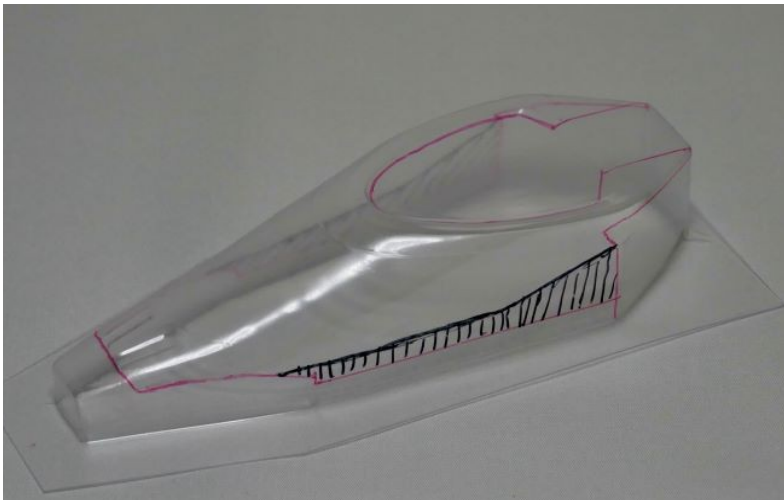


ボディ本体 カット、塗装イメージ



2. スクリーン

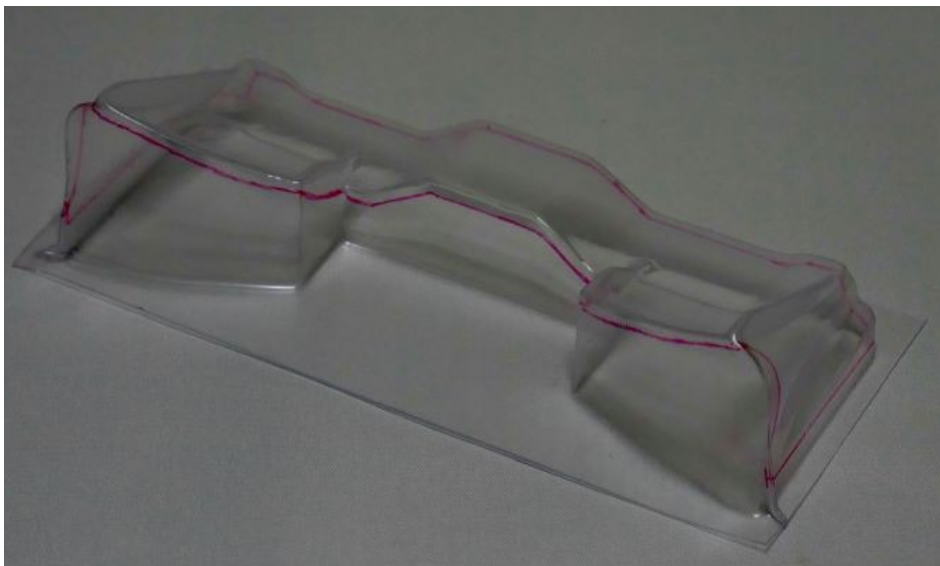
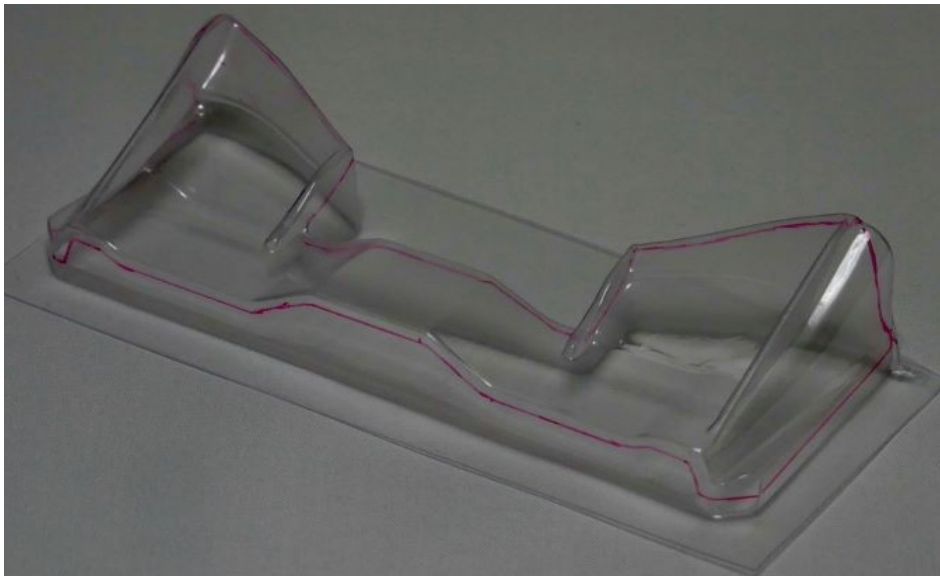
黒斜線: カットせずボディへの固定用に塗装しません(マスキングには [template2023.pdf](#) の「Masking for cockpit」を使用して下さい)。スクリーン部分のマスキングシールは外付けシール(後述)にあります。



スクリーン カット、塗装イメージ



3. フロントウイング

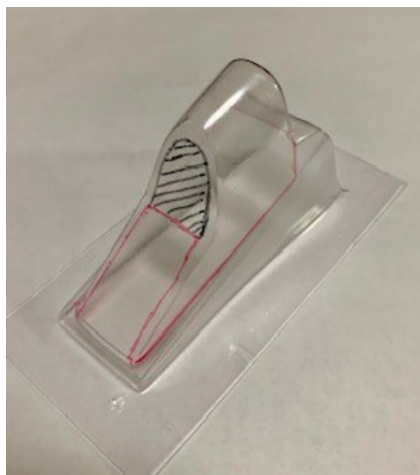
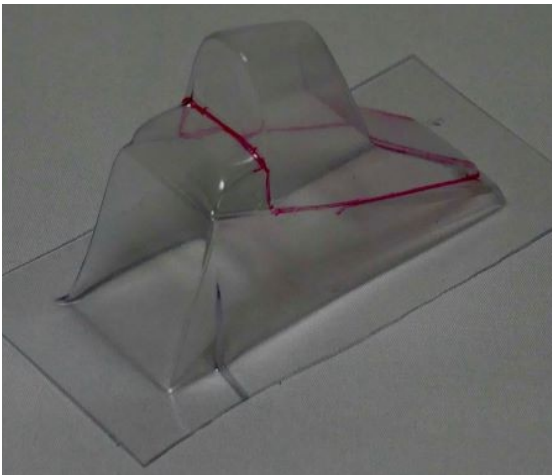


フロントウイング カット、塗装イメージ



4. ロールバー

黒斜線: 強度確保用に塗装しません。必要に応じてカットしてください(マスキングには template2023.pdf の「Masking for Rollbar」を使用して下さい)。



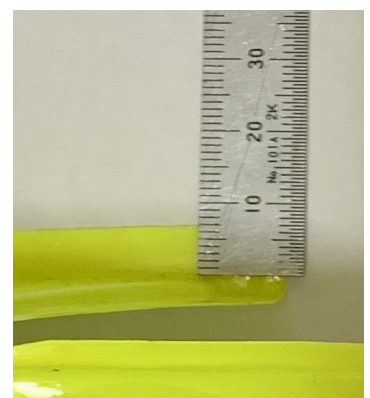
ロールバー カット、塗装イメージ



5. サイドパーツ(絞り込み形状)



サイドパーツ カット、塗装イメージ



ボディ本体と重なる垂直部分の幅は、7mm程度残してカットしてください。

■ボディの組み立て

接着剤あるいは、薄手の両面テープ(ニトムズの超強力両面テープ PE・PP用 No.5015)で組み立て後、1.5~2mm 径程度の小径のビス、ナットで複数箇所を固定することをお勧めします。

サイドパーツの次写真の赤丸部分は、1mm厚の両面テープを使って下さい。

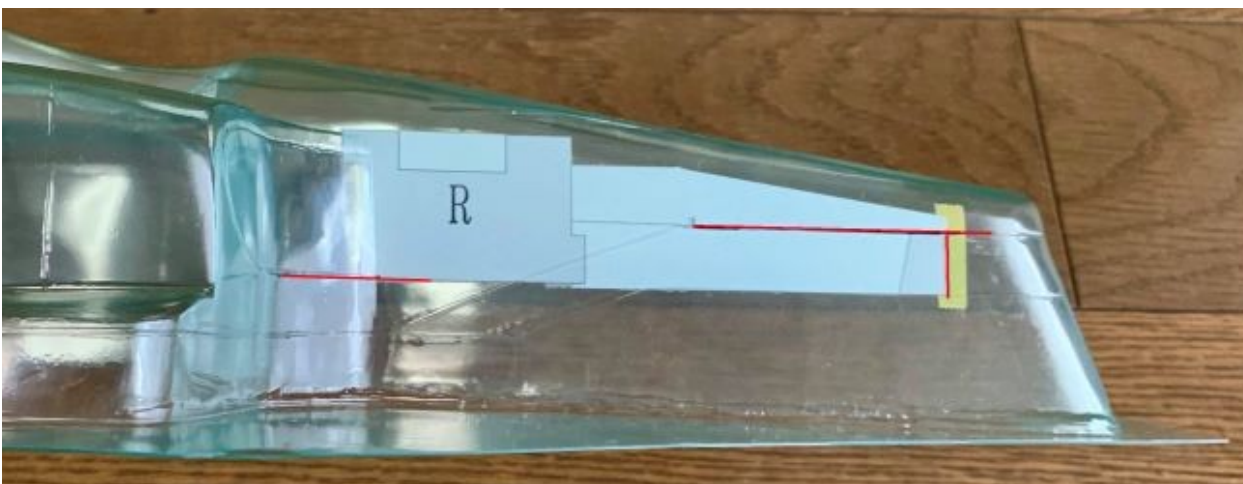


■フロントサス部分 ボディカットライン

template2023.pdfをシール台紙等に印刷して切り出してボディに貼ることによって、カットラインを示します。フロントサスの位置を決めたら、ボディマウントの穴を適宜開けて下さい。

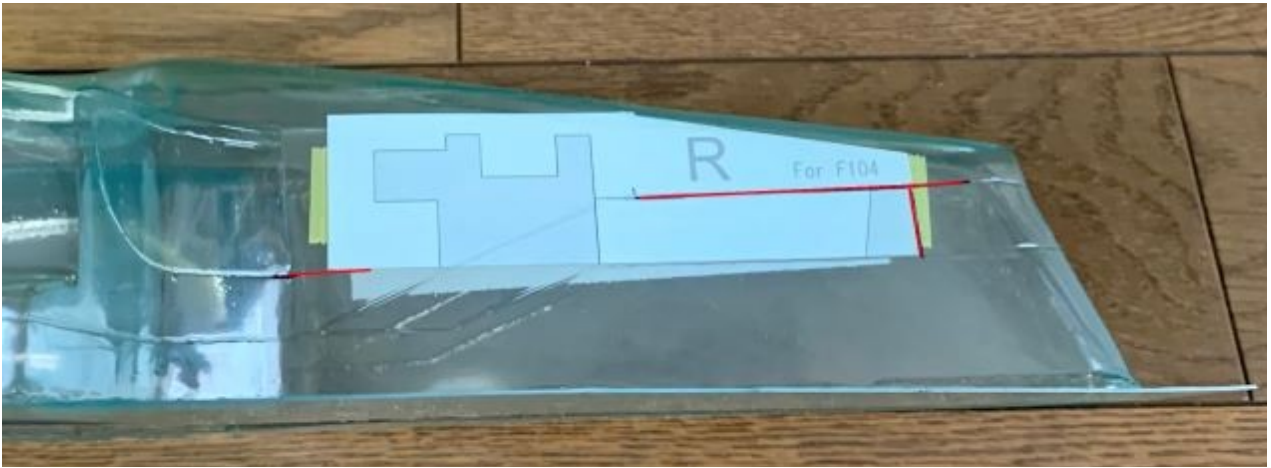
1. F104 系ナローサス用

「Narrow Front suspension cut template」を次写真のように貼って切り出して下さい。赤のラインのところを合わせるように貼って、グレーの領域を切り出します。



2. F104 系ワイドサス用

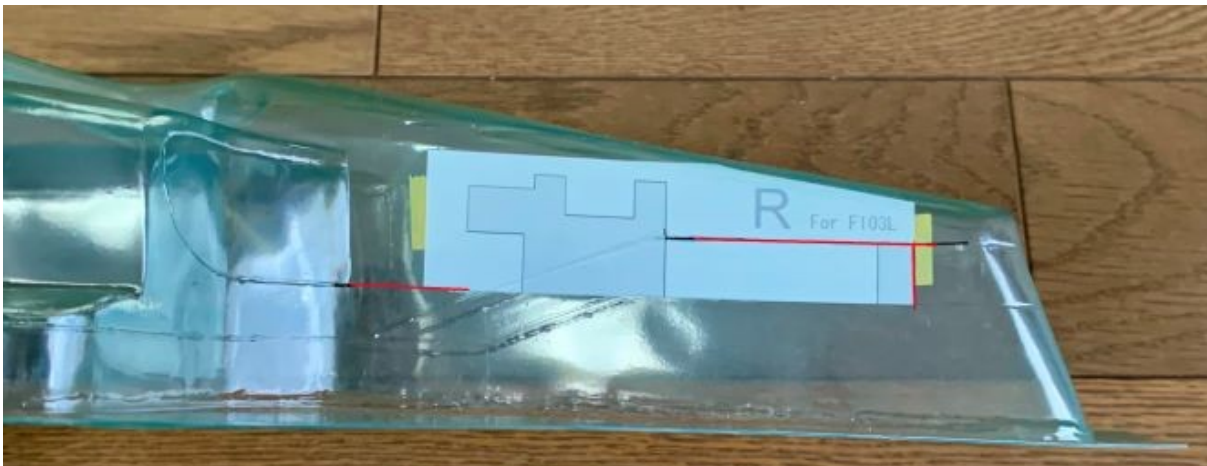
「Wide Front suspension cut template for F104」を下記写真のように貼って切り出して下さい。赤のラインのところを合わせるように貼って、グレーの領域を切り出します。



3. F103L ワイドサス用

このボディはF104などホイールベース270mmのF1シャシーへの適用を推奨しますが、F103Lワイドサスへ適用する方法を記します。

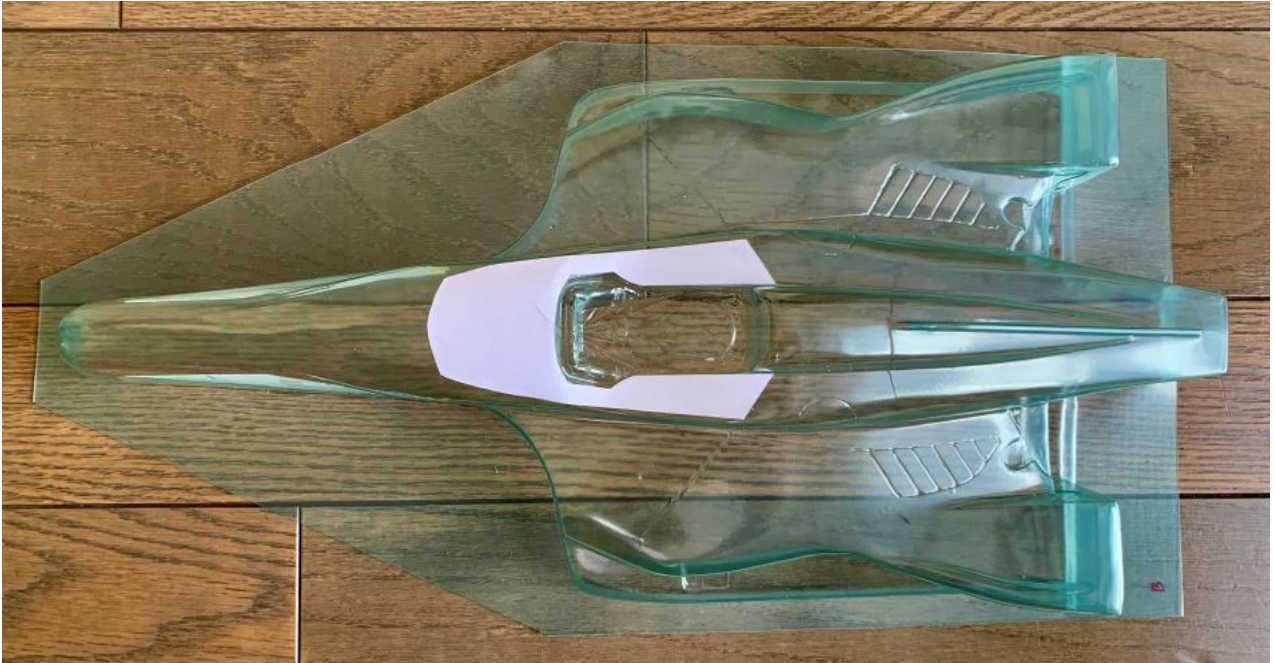
「Wide Front suspension cut template for F103L」を下記写真のように貼って切り出して下さい。赤のラインのところを合わせるように貼って、グレーの領域を切り出します。



リアタイヤ前のホイールアーチはカットラインから少し後ろを切って、長いホイールベースに対応させます(写真は旧ボディですが、考え方は同じです)。

■コックピット部分の塗り分け

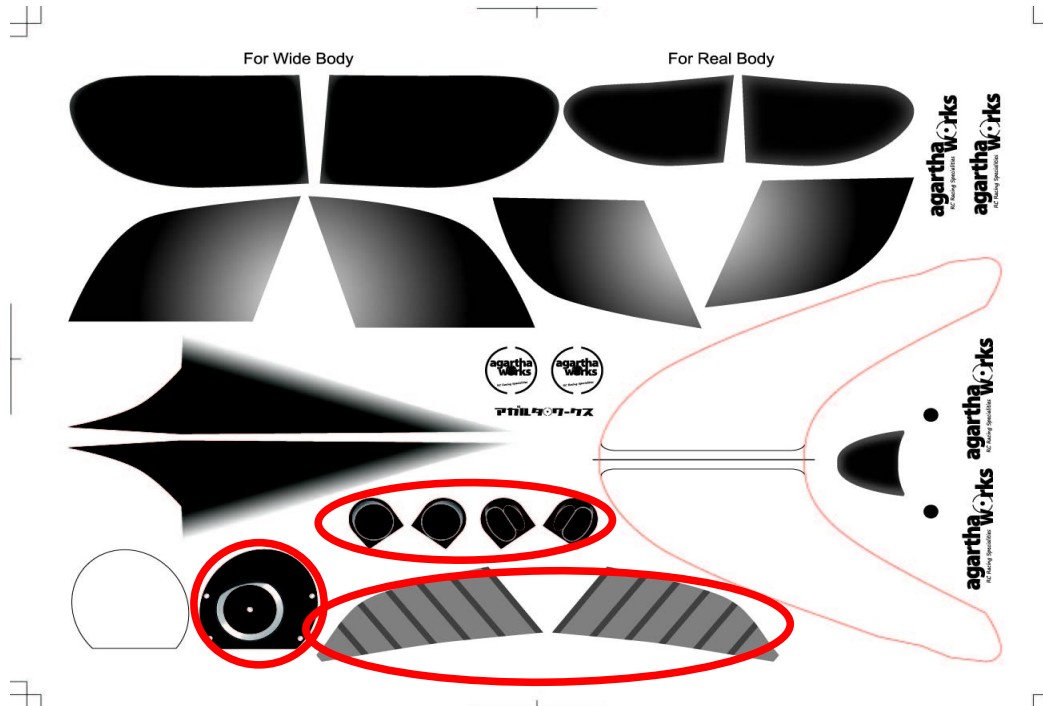
ボディカラーによっては、コックピット部分が他の色になっていることがあります。必要に応じて、template2023.pdfの「Masking for cockpit」をマスキングに使用して下さい。



カッティングシートを同形状にカットし、ボディ外側から貼っても良いです。

■エアインテーク部分外付けシール、スクリーン部分マスキングシール

サイドパーツ(絞り込み形状)を使った場合は、「For Real Body」の前後シールを、サイドパーツ(絞り込み形状)を使わなかった場合は、「For Wide Body」の前後、サイド(痩せ見え用)のシールを貼って下さい。**赤丸**で囲んだシールは白裏打有りで透けません。スクリーン部のマスキングシールはプリカットされていますが、中央部の「柱」は、必要に応じて、カットして使用して下さい。



右側の●2つは、フロントノーズ用です。先端から7.5cmの位置に貼って下さい。
エグザーストパイプは、丸いものがH、変形した2連のものがCをイメージしています。
すべて裏貼りで仕上げたい方は、Xindydecal2023.pdfをご利用下さい。

ワイドボディでのサイド(痩せ見え用)シールの貼り付け例



■ウイングの作製

このボディは実車に近い形状を目指しており、フロントノーズが長くなっています。市販のフォーミュラ用フロントウイングでは長さが足りず、かなり奥まった位置になってしまいます。

template2023.pdfのテンプレート(Front Wing Mount)を使って、2mm厚のポリカ板等からフロントウイングマウントを切り出して、ZENの「Z5004B ワイドタイプ フロントウイング ブラック」と組み合わせた作例を次に示します。

フロントウイングマウント(左下の写真で白い板)は長さ5mmの3mmビスを使ってウイングに固定します(4か所もしくは両端の2か所)。フロントウイングマウントの裏側から長さ8mmの3mmビスを2か所貫通させ、2mm厚のスペーサーを入れてから、ウイングを乗せ、3mm ナット等で固定して完成です(右下写真)。



旧ボディでは、京商 プラズマフォーミュラ用フロントウイングベース(PZ126B)を使った作例を紹介しましたが、廃盤になっています。フロントウイングを前に出すためのウイングマウント用のテンプレート(Front Wing Mount(old))は、template2023.pdfに含めてあります。

リアウイングは、大きいサイズのもの(ZEN「F1 3Dリアウイング」やタミヤ「F103L 用リアウイング

SP.559」等)がスケールの的に合うと思います。Xindydecal2023.pdfに含めてある翼端板のテンプレートシートを1mm厚等のポリカ板に貼って、ZEN「F1 3Dリアウイング ブラック」に取り付けた作例を次に示します。各自で工夫してみてください。



■車体全体完成写真



右側は2019年シーズンまでのコックピット部スクリーン無しバージョンの作例です。

※ヘルメット、バックミラー、カメラ、リアウイング、シャシー・タイヤ等は付属しません。

更新履歴

2023/12/28 初版作成

2023/12/31 スクリーン、ロールバーマスキング追加

2024/01/13 ワイドボディの説明追加

2024/01/27 F/R ウイングの作例追加